

◎各研究室に緊急時連絡係を

9月の特集号に、ヘリウムガス回収における洩れ探しについて記載しましたが、読んでいただけでしょうか。

『…どの方向に洩れがあるか確認し、そのラインで使用している研究室の一部屋、一部屋に入って点検します。すぐ洩れの箇所が判れば良いのですが、…』とありますが、研究室の中に入っても、よほど洩れ出る音がしないと見つけにくいのです。又、どこの元栓が使用され、どの装置に接続されているか良く分かりませんし、下手にさわると行きません。又、液体ヘリウムの供給を受ける研究室・使用者は多く、皆と連絡をとるのに時間がかかることもあります。そこで、今はまずごく最近供給を受けた人の中から、使用状況を判断して尋ねて回りますが、その時いつも感じることは、当該研究室で液体ヘリウム使用実験の勘所を押さえている方に、立ち会っていただけると随分効率がよいのに…ということです。

そこで、立会い時にご協力いただける人を、各研究室・測定室に1名以上緊急時連絡係として決めていただくことを、低温委員会で議論の上決定しました。

なお、この係をおくことについては、低温委員長から各所員に依頼し、決めていただくことにしています。よろしくご協力下さい。

◎年末・年始にかけてのお願い

液化室では、年末・年始にかけては、液体ヘリウムを使用する実験は避けていただくようお願いしております。したがって、ほとんどの研究室では、この時期に実験装置等の停止および立ち上げをすることになりますが、例年、ガス回収等に関する事故は、こういった装置の停止・立ち上げの時期に多く起こっています。年末・年始は特に、液化室係員が不在で、万が一事故が起こっていた場合は発見が遅れることとなります。

各研究室におかれましては、液化室よりお知らせの別紙事項を良く読んで、閉めたはずと思って、もう一度再確認するくらいの手間をかけて下さい。よろしくお願いします。

忘れていませんか？

①年末のヘリウムの供給は12月22日(木)が最後です。

年始の " 64年1月10日(火)が最初です。

ヘリウム伝票の提出はお早めに

②保有しているストレージのヘリウム残量の確認はすみしましたか？

@研究室でガス回収する場合

回収口が外れ落ちることの無い様、連結の場合は特に注意して下さい。

@液化室に搬入する場合

12月27日(火)午前中までをお願いします。

引渡しは1月6日(金)からです。

残量を確認の上、お持ち込み下さい。

◎ヘリウム回収率について

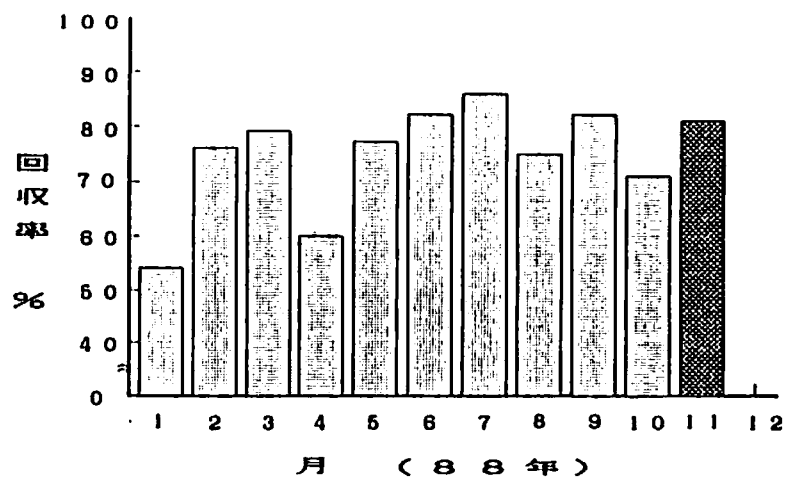
11月(10/31~12/5の間)の回収率は、在庫調査にもとずき以下の様になりました。

回収率 = 回収量 / { (供給量 + 月はじめ在庫量) - 月終わり在庫量 }

80.9 % 5223.3 Q 6272.8 Q 1416.7 Q 1230.5 Q

回収率

80.9%



来年も液化室だよりを

ご愛読下さい。

